

平成 26 年度事業計画

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

I 基本方針

平成 26 年度は次の項目を軸に事業計画を策定した。

1. 展示活動及び調査研究と情報収集・提供に関する事業
2. 民藝の普及・振興（国内外）に関する事業
3. 民藝に携わる工人の育成及び協力・支援に関する事業
4. 施設環境と広報活動の向上に関する事業

II 事業

1. 展示活動及び調査研究と情報収集・提供に関する事業

1) 展覧会名とその概要

日本民藝館の展示室において 5 期に分けて展覧会を開催する。特別展にあわせた展覧会資料及びパンフレット等の制作と講演会・セミナー等を予定している。

◆ 春期陳列「九州の陶磁展」

会期：平成 26 年 4 月 1 日(火)―6 月 8 日(日)

内容：唐津、小代、薩摩、伊万里 など、江戸期の日本陶磁を代表する九州陶磁と、柳宗悦が見出した小鹿田や苗代川などの民窯陶器の優品を展観。

記念講演会：5月31日（土）演題「柳宗悦が選んだ日本のやきもの」講師 梶山博史（兵庫陶芸美術館学芸員）

◆ 夏期陳列「生誕120年 濱田庄司展」

会期：平成26年6月17日(火)―8月31日(日)

内容：陶匠 濱田庄司の生誕 120 年を記念し、当館の所蔵する濱田作品の中から約 150 点の代表作を選び一堂に展観する。

記念講演会：7月中旬予定 演題「祖父濱田庄司のこと」（仮）講師 濱田琢司（南山大学准教授）

◆ 秋期陳列「カンタと刺子―ベンガル地方と東北地方の針仕事―」

会期：平成26年9月9日(火)―11月24日(月)

内容：西ベンガル州（現インド）とバングラディッシュの女性が刺し綴った布・カンタや、東北地方の「こぎん」「菱刺」などの日本の刺し子。家族の幸せを願い作った女性の針仕事を紹介。

* 出品協力：岩立フォークテキスタイルミュージアム。

記念講演会：10月中旬予定 演題「ベンガル地方のカンタについて」（仮）講師 岩立広子（岩立フォークテキスタイルミュージアム館長）

◆ 平成26年度「日本民藝館展―新作工芸公募展―」

会期：平成26年12月13日(土)―12月25日(木)

表彰式・講評会：平成26年12月10日(水)

内容：手仕事による伝統的な工芸品を中心に、日本各地の新作工芸品の数々を展示・頒布する、恒例の新作工芸公募展です。(出品作：陶磁・織物・染物・木漆工・金工・竹工・藁及草工・硝子工・紙・他)

◆ 冬期陳列「文字の美—工芸的な文字の世界」

会期：平成27年1月10日(土)—3月22日(日)

内容：拓本・木版・絵画などに書かれた文字や、陶磁器・金工品・木工品・染色品などに表わされた文字など、工芸的な文字の美しさを紹介する。

記念講演会：3月上旬予定 内容検討中

2) 調査・研究及び情報収集・提供に関する事業

①所蔵資料(文献・書籍)の整備を継続し、史料価値の高いものは公開できるように準備を進める。(26年度：柳宗悦とバーナード・リーチの往復書簡の発刊)

②坂本万七撮影ネガの画像データ(沖縄に関する作品)の目録作業(画像情報等)の推進。

③沖縄の工人への館展出品協力及び沖縄県内の博物館施設との協力関係を構築する。

3) 資料・文献などの保存整備と活用

①本館及び旧柳邸内の書籍・文献類の目録整理とデータベース化(簡易検索：バーコード)により資料の保存管理を推進する。

②所蔵品の保存状態を把握し必要に応じた劣化防止(虫菌害防除作業(IPM)・修復)と適切な修復・保存を講じる。

・所蔵品(木漆工・染織類等)の品質状態に応じて燻蒸を実施する。

2. 民藝の普及・振興に関する事業

1) 国内外の美術館及び他民藝館への所蔵品等の貸出等による民藝の普及活動

* 日本民藝館の所蔵品等を各地の美術館に貸出を行い民藝の振興に取り組む。

貸出先：豊田市民芸館 他

2) 各地美術館及び関係団体への講師・講演協力

・日本民藝協会全国大会及び日本民藝協会夏期学校、他美術館への講師支援

3) 博物館実習生への現場教育の機会提供

・博物館学芸員資格の習得を希望する学生に対し、博物館における実習の場を大学からの依頼に基づき積極的に提供する。実習生数：約15人程度 実習期間：10日間(講義4日、実務実習6日)

4) 「日本民藝館友の会・維持会」会員への情報提供

①会員を主たる対象としたセミナー、見学会など定期的な開催を企画していく。

②会員に情報「日本民藝館の特別展・記念講演・見学会の案内」を定期的に送付する。

5) 小学校との連携による美術館教育などの教育普及活動

・民藝の普及活動の一環として、小学生を対象とした鑑賞教室や出張授業などの企画・運営を行う。今年度は、私立桐朋学園小学校と私立武蔵野東小学校の他に、目黒区などの公立小学校を予定している。

6) 一般社会人を対象とした教育普及活動

・民藝の普及活動の一環として、一般社会人を対象とした講演会や座談会を開催する。

7) 国際文化交流に関する事業

国際文化交流を推進する観点から、所蔵品の海外貸出・企画の協力等及び広報物の発行を推進する。

① 日本民芸館資料「柳宗悦とバーナード・リーチの往復書簡」英文版を柳宗悦研究・民藝研究者及び各種団体（大学・研究会・図書館等）に寄贈する。

② 韓国文化院との催事に併せた情報交換

8) 施設の有料貸与（主に西館）

・文化/芸術分野を目的とする講演、音楽会、茶会などの催事の貸与申請が、当館の主旨に相応しい内容であれば、施設の使用を許可し催事の協力を行う。

3. 民藝に携わる工人の育成及び協力・支援に関する事業

1) 日本民藝館展の開催(新作工芸公募展)

① 出展公募: 民藝の物作りの製作者および協力製作者を対象とした新作工芸品の公募をおこない、出品作品の中から優秀な作品を選考、表彰し出品者への講評会をおこなう。

② 展示公開/即売: 選考された優秀な作品を大展示室で展示公開する。また、入選作品の即売を通して作り手の支援を行う。

③ 表彰式・講評会: 各分野別に審査員と出品者が出品作品についての講評会と意見交換会を行う。

2) 工芸研究講座の開催: 木漆工・染織・陶磁器等分野の講座開催

近年館展の陶磁部門でスリップウェアの出品が増加していることから、質の向上のためにスリップウェアの出品者を対象に工芸講座を開催する。

4. その他 施設環境と広報活動の向上に関する事業

1) 館内施設の改善（快適な観覧環境の提供）

① 旧柳宗悦邸の活用とその活用に沿った環境整備の充実を進める。

② 防火装置、空調関係機器等の安全・安心に関わる設備の定期的メンテナンスと設備機器の老朽化対策（耐用年数を超えた物）を講じる。

③ 収蔵庫内の陶磁器の地震対策と収蔵品の劣化防止・修復を実施する。

④ 入館者と美観の視点から必要に応じて入館口周りの整備（入館数のピーク・高年齢層対応等）を実施する。

2) 広報活動

① ホームページ/facebook による情報の発信

展覧会情報や各種催事情報等を積極的な発信により幅広い客層の獲得に向けた活動を展開する。

② マスメディアの活用による集客強化

館の展覧会・催事について、TV、新聞、雑誌などのマスコミ取材に積極的に対応するほか、ポスター、インターネットの活用など情報媒体の多様化を更に進める。

③館展受賞者の公表を雑誌「民藝」のほか、該当地域新聞に情報提供を行う。

3) 催事

日本民藝館の民藝活動の普及と新たな固定客層の獲得を目的とした特別な講演会、深澤館長との座談会等のプログラムを企画し実施する。今年度は、一般者に向けたプログラムの内容や参加費を検討のうえ、年4回を目途に企画・運営する。

4) 入館料等の改定

①平成26年4月1日付の消費税率引上げに伴い、今年度に4月1日より入館料、施設利用料、所蔵品貸出料を改定する。

②入館料は、ホームページ、ポスター、パンフレット等で料金改定を周知する。

以上